

| |
|-----|
| 別 表 |
|-----|

(1) 冊子版「航空と文化」No.117、118号目次

| 117号 (夏季号) | |
|--|--|
| ・ 無人航空機がもたらす空の産業革命 ～地方から日本の空を変える～株式会社AileLinX 取締役会長/ ヒロボー株式会社元 執行役員 副社長 星 尚男 | |
| ・ 国際線発着調整事務局」設立10周年を迎えて 日本航空協会国際線発着調整事務局 武田洋樹 | |
| ・ 飛燕の再組立と岐阜かかみがはら航空宇宙博物館のリニューアルオープン 日本航空協会航空遺産継承基金事務局 | |
| ・ 2018 青少年航空宇宙絵画国際コンテスト (2018FAI ヤングアーティストコンテスト 国内予選) | |
| ・ 一般財団法人日本航空協会 平成29年度事業報告および平成30年度事業計画 日本航空協会 | |
| 118号 (新春号) | |
| ・ 新年のご挨拶 日本航空協会会長 野村吉三郎 | |
| ・ 第三滑走路の整備を含む成田空港の機能強化について 成田国際空港株式会社 代表取締役副社長 長田 太 | |
| ・ 世界最小衛星打上げロケット SS-520-5号機の開発 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 宇宙飛翔工学研究系准教授 観測ロケット実験グループ長 SS-520-5 号機プロジェクトマネージャ 羽生宏人 | |
| ・ フランス航空教育団が日本に与えた影響 株式会社セリク代表取締役社長 クリスチャン・ポラック 東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻教授 鈴木真二 | |
| ・ 業界標準を確立したエアバスの航空機とそのイノベーション エアバス・ジャパン株式会社 日本担当 コミュニケーション・ディレクター 野坂孝博 | |
| 平成30年度「空の日」航空関係者表彰式 日本航空協会 | |

(敬称略)

(2) WEB版「航空と文化」

| 掲載日 | タイトル | 執筆者 |
|------------|--------------------|----------------------|
| 2019. 2.15 | フランス航空教育団が日本に与えた影響 | クリスチャン・ポラック 鈴木 真二 |
| 2019. 3.26 | 成田空港の現状と第3ターミナル | 川瀬 仁夫 |

(敬称略)

別表2 航空スポーツ団体の活動状況

2018年航空スポーツ団体別活動状況

2018年12月31日現在

| | (一社)日本気球連盟 (NKR) | エクスベリメンタル航空機連盟 (EXAL) | (公社)日本航空機操縦士協会 (JAPA) | (公社)日本滑空協会 (JSA) | 日本模型航空連盟 (JMA) | (公社)日本ハング・パラグライダー連盟 (JHP) | (NPO)日本マイクロライト航空連盟 (JML) | 日本パラモーター協会 (JPMA) | ★パラシューティング | |
|--------|--|---|--|---|--|---|--|---|--|--|
| 実施種目 | 熱気球 ガス気球 | 自作航空機 ・固定翼機 ・ヘリコプター ・ジャイロプレーン ・人力航空機 | 飛行機 (ジェット機) ヘリコプター (ロータークラフト) 曲技飛行 (エアロパティックス) | 滑空機 (グライダー) 動力滑空機 (モーターグライダー) | 模型航空機 ・ゴム動力機 ・エンジン機 ・電動機 ・グライダー ・ヘリコプター他 ・模型ロケット ・マルチローター (ドローン) | ・ハンググライダー ・パラグライダー (補助動力付を含む) | マイクロライト (超軽量動力機) ・純面操縦型 ・体重移動操縦型 ・パラシューティング | ・パラモーター (RPF1, RPF2) ・ワイワードハンググライダー (RWF1, RWF2) | パラシューティング ・アキチュラシー ・フォーメーション スカイダイビング ・フリースタイル ・フリーフライイング | |
| 会員数 | 1,492人 | 約100人 | 619人 | 494人 | 6,143人 | 7,605人 | 514人 | 1,011人 | - | |
| 愛好者全体数 | 約7,000人 | 約300人 | 約600人 | 約3,000人 | 約7,800人 | 約15,000人 | 約650人 | 約4,000~5,000人 | - | |
| 機体数 | 383機 | 約200機 | 不明 | 330機 | 不明 | 不明 | 約560機 | 不明 | - | |
| 備考 | 2018年4月2日に一般社団法人へ移行 日本選手権大会 (10~11月) 佐賀42機 世界選手権大会 (8月) ボーイング (7月) 滋賀 女性世界選手権 (8月) スリランカ 世界選手権 (8月) スリランカ ベトナム参加 (9月) シンガポール 世界選手権 (9月) シンガポール FAI Gordon Bennett (9月) スリランカ (9月) スリランカへ1機2名参加 | 【エアロパティックス】LSAの試験飛行許可を受け、JA登録や無届届出申請に合わせたため第三者賠償航空保険につき保険会社から引き受けられなかったとの回答。 【人力航空機】鳥人間大会 (7月) 滋賀 滑空機部門に22機出場。 飛行距離400mを超える機体もあり近年出場者、国内の性能向上が顕著。国内記録挑戦は、機体不具合により記録無し。 | 【飛行機】Red Bull Air Race (6月) 千葉 最終順位14位 (6月) 最終順位5/14位 【曲技飛行】各拠点で個人又はクラブ活動。曲技飛行競技講習会を開催。滑空機曲技世界選手権 (6月) 酒井選手34/35位。 【パイロット】尾花氏審判員任用。FAI CIVA会議 (11月) ボーイングで参加。 | 世界選手権大会 (7~8月) 市川選手36/45位 【18mクラス】 (7~8月) 市川選手36/45位 | 日本選手権大会 (7月) 北海道 F5B・F5D世界選手権 (7月) 北海道 大会運営や選手団家族への対応で高い評価を受け、海外での装置の受け入れ問題につき再考が求められる結果に。 | 安全啓蒙として「空の事故防止」を実施。 【カガク】 (6月) 市川選手2/47位 【カガク】 (7月) 市川選手2/47位 【18mクラス】 (7~8月) 市川選手36/45位 | 事故4件 (内、死亡事故2件) 発生。事故防止のため、11月より「順法&安全強化運動」の立ち上げ準備に入り、2019年1月からの全国展開を目指した。 日本選手権 (9月) 北海道に全国から105名参加。復興支援飛行イベントを併設。義捐金贈呈も実施。 西川氏がFAIエアクラフトを受賞。 | 国土交通省への登録機数 ・純面操縦型 約360機 ・体重移動操縦型 約200機 | 事故は減少傾向にあるが、より一層の安全対策の強化、会員への指導・教育の徹底を図りたい。 日本選手権大会 (9月) 鳥取 世界選手権大会 (4~5月) ハンガリー 日本選手が国際的に活躍するためには、更なる経験値が必要。 | |

日本航空協会認定団体の活動状況 (★: 現在認定統括団体なし)

別表3 競技会の実績

(1) 日本で開催したFAI国際競技会 (FAI Category I、II)

| 種 目 (名 称) | 選手権者名 | 開 催 日 | 場 所 | 参加数 |
|--------------------------------------|--|---------------------|--------------|------------|
| 1. 模型航空機 F5B ラジオコントロール 電動グライダー | 個人 Van BERKUM Gerben (NED) 団体 オーストリア | 2018. 07. 22 ～27 | 北海道 滝川市 | 9カ国 23名 |
| F5D ラジオコントロール 電動パイロンレーシング | 個人 Thomas CINBURK (CZE) 団体 チェコ | | | 5カ国 15名 |
| 2. ハング・パラグライディング 第15回池田山カップ | 中止 | 2018. 8. 9 ～12 | 岐阜県 揖斐郡 | (中止) |
| East Japan Championship Class I | 総合 大門 浩二 女性 佐野 容子 | 2018. 9. 14 ～17 | 茨城県 石岡市 | 54名 |
| 2018パラグライディング 日本選手権 in IBRAKI | 不成立 | 2018. 9. 21 ～24 | 茨城県 石岡市 | 80名 |
| East Japan Championship Class V | 総合 林寺 仁 | 2018. 10. 06 ～8 | 茨城県 石岡市 | 13名 |
| 2018パラグライディング アキュラシー日本選手権 in 小山 | 総合 和田 浩二 女子 伊藤 まり子 | 2018. 11. 10 ～11 | 栃木県 小山市 | 31名 |
| ハンググライディング 日本選手権2018 in 朝霧 | 総合 大門 浩二 女子 不成立 | 2018. 11. 22 ～25 | 静岡県 富士宮市 | 51名 |
| 西富士ジャパクラシック | 総合 鈴木 博司 女子 櫻井 さやか | 2019. 1. 12 ～14 | 静岡県 富士宮市 | 41名 |
| ハンググライディング 紀の川スカイグランプリ2019 | 総合 田中 元気 女子 佐野 容子 | 2019. 2. 8 ～11 | 和歌山県 紀の川市 | 50名 |
| 2019板敷山スプリングフライト | 総合 氏家 良彦 女子 佐野 容子 | 2019. 3. 21 ～24 | 茨城県 石岡市 | 49名 |

(2) 公認した日本選手権

| 種 目 (名 称) | 選手権者名 | 開 催 日 | 場 所 | 参加数 |
|---|-----------------------|---------------------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 熱気球 平成30年度(第35回) 熱気球日本選手権 | 藤田 雄大 | 2018. 10. 31 ～11. 04 | 佐賀県佐賀市 | 42機 |
| 2. 模型航空機 F1A フリーフライト・グライダー F1B フリーフライト・ゴム動力機 F1C フリーフライト・エンジン機 | 金川 茂 田岡 眞 関澤 一雅 | 2018. 11. 03 ～04 | 千葉県旭市 | 6名 19名 7名 |
| F1D フリーフライト・室内機 | 木原 一正 | 2018. 10. 27 ～28 | 長野県松本市 やまびこドーム | 13名 |
| F2B コントロールライン・曲技 | 比気 勝 | 2018. 10. 12 ～14 | 福井県南条市 リトリートたくら | 45名 |
| F3A ラジオコントロール・曲技 | 音田 哲男 | 2018. 08. 30 ～. 09. 02 | 栃木県宇都宮市 宇都宮RCFC羽黒飛行場 | 39名 |
| F3B ラジオコントロール・ グライダー | 櫻井 尚人 | 2018. 11. 09 ～11 | 埼玉県児玉郡上里町 上里模型グライダー場 | 40名 |
| F3C ラジオコントロール・ ヘリコプター | 伊藤 寛規 | 2018. 10. 04 ～07 | 岐阜県各務ヶ原市 一宮ヘリ飛行場 | 42名 |
| F3D ラジオコントロール・ パイロンレーシング | 井上 純一 | 2018. 08. 31 ～. 09. 02 | 三重県伊賀市 木津FK飛行場 | 11名 |
| F3J ラジオコントロール・ 手曳航グライダー | 栗田 好浩 | 2018. 05. 11 ～13 | 埼玉県児玉郡上里町 模型グライダー場 | 21名 |
| F3K ラジオコントロール・ ハンドランチグライダー | 櫻井 尚人 | 2018. 10. 19 ～20 | 埼玉県児玉郡上里町 模型グライダー場 | 24名 |
| F3P ラジオコントロール・ 室内曲技 | 鈴木 貴之 | 2018. 11. 11 | 埼玉県おごせ市 ニューサンピア 埼玉おごせ体育館 | 10名 |
| F5B ラジオコントロール・ 電動グライダー | 小川 和徳 | 2018. 10. 06 ～07 | 千葉県野田市 野田スポーツ公園 | 15名 |
| F5J ラジオコントロール・ 電動サーマルグライダー | 須田 勲 | 2018. 06. 02 ～03 | 埼玉県児玉郡上里町 模型グライダー場 | 28名 |
| 3. ハング・パラグライディング 2018パラグライディングアキュ ラシー日本選手権 in 小山 (FAI Category II) | 総合 和田 浩二 女子 伊藤まり子 | 2018. 11. 10 ～11 | 栃木県小山市 小山絹滑空場 | 31名 |
| ハンググライディング日本選手 権2018 in 朝霧 (FAI Category II) | 総合 大門 浩二 女子 不成立 | 2018. 11. 22 ～25 | 静岡県富士宮市 朝霧公園 | 51名 |
| 2018パラグライディング 日本選手権 in IBRAKI | 不成立 | 2018. 9. 21 ～24 | 茨城県石岡市 足尾山エリア | 80名 |

| | | | | |
|---|-----------------------------------|------------------|------------------|-------------------------------|
| (FAI Category II) | | | | |
| 4. マイクロライト 第11回マイクロライト航空機 日本選手権大会 | 舵面操縦型 斎藤 博 体重移動操縦型 高谷 隆則 | 2018.9.22 ～24 | 北海道白老町 | 舵面操縦型 9名 体重移動操 縦型 7名 |
| 2018年度JPMAパラモーター 日本選手権/FLY & FUN in 鳥取 | パラモーター 田村 高章 | 2018.11.9 ～11 | 鳥取県東伯郡北栄町 東高尾 | 14名 |

(3) 後援した競技会等

| 種 目 (名 称) | 選手権者名 | 開 催 日 | 場 所 | 参加数 |
|--|-----------------------------------|----------------------|------------------------------|------------|
| 1. 熱気球 2018熱気球ホンダ・グランプリ | 総合1位 (藤田 雄大) | | | |
| 第1戦 渡良瀬バルーンレース2018 | (佐藤 将史) | 2018.04.06 ～08 | 栃木県栃木市藤岡町 渡良瀬遊水地周辺 | 29機 |
| 第2戦 佐久バルーン フェスティバル2018 | (宮田 浩樹) | 2018.05.03 ～05 | 長野県佐久市 千曲川スポーツ交流広場 | 35機 |
| 第3戦 一関・平泉バルーン フェスティバル2018 | (須江 哲洋) | 2018.10.19 ～21 | 岩手県一関市 一関水辺のプラザ | 26機 |
| 第4戦 2018佐賀インターナショナル・ バルーンフェスタ | (藤田 雄大) | 2018.10.30 ～11.05 | 佐賀県佐賀市 嘉瀬川河川敷 | 26機 |
| 第5戦 鈴鹿バルーンフェスティバル 2018 | (藤田 雄大) | 2018.11.23 ～25 | 三重県鈴鹿市 鈴鹿川河川緑地 鈴鹿サーキット | 26機 |
| 第45回 北海道バルーン フェスティバル | 上士幌バルーンクラブ (PLT 荒井 知子) | 2018.08.10 ～12 | 北海道河東郡上士幌町 上士幌町航空公園 | 競技機 35機 |
| 第43回 おぢや風船一揆 | 武蔵野エンビス (PLT 島村 幸治) | 2019.02.23 ～24 | 新潟県小千谷市西中 | 36機 |
| 2. 滑空機 (グライダー) 第59回 全日本学生グライダー 競技選手権大会 | 個人 山路 優輝 (慶應義塾大学) 団体 慶應義塾大学 | 2019.03.11 ～16 | 埼玉県熊谷市 妻沼滑空場 | 14校 39名 |
| 第58回 全国七大学総合体育大会 航空の部 | 個人 柳 泉穂 (東京大学) 団体 東京大学 | 2019.02.27 ～03.06 | 千葉県関宿町 NPO関宿滑空場 | 8校 22名 |
| 第21回 東京六大学対抗 グライダー競技会 | 個人 山路 優輝 (慶應義塾大学) 団体 慶應義塾大学 | 2018.09.02 ～09.08 | 埼玉県熊谷市 妻沼滑空場 | 6校 25名 |
| 第51回 全日本高等学校 滑空選手権大会 | 個人 緑川 倫 (慶應義塾高校) 団体 慶應義塾高校 | 2018.07.27 ～29 | 埼玉県熊谷市 妻沼滑空場 | 1校 8名 |

(4) 選手を派遣した世界選手権、アジア選手権等

| 種 目 (名 称) | 選手権者名 | 開 催 日 | 場 所 | 参加国 | 日本人 成績 |
|---|--|-------------------------|---------------------------------|----------------------|-------------------------------------|
| 1. 熱気球 第23回FAI熱気球世界選手権 | Dominic BAREFORD (GBR) | 2018. 8. 18 ～26 | Gross- Siegharts (オーストリア) | 33カ国 105機/ チーム | 16, 39, 68, 73, 83, 85, 87 |
| 第4回熱気球ジュニア 世界選手権 | Jan SUCHY (CZE) | 2018. 09. 11 ～16 | Wloclawek (ポーランド) | 17カ国 49名 | 8, 30, 45, 47 |
| 第3回熱気球女性世界選手権 | Daria DUDKIEWICZ (POL) | 2018. 08. 06 ～11 | Naleczow (ポーランド) | 15カ国 33名 | 27, 32, 33 |
| 第62回 FAI GORDON BENNETT | Jacek BOGADANSKI (POL) Mateusz REKAS | ～10. 06 2018. 09. 27 | (スイス) Bern | 20機 12カ国 | 19 |
| 2. エアロバティック 第10回曲技世界選手権 (滑空機Advanced) | Jonas LANGENEGGER (SUI) | 2018. 08. 01 ～11 | スプラスタウツェ 飛行場 (チェコ) | 12ヶ国 35名 | 34 |
| 3. 滑空機 (グライダー) 第35回滑空世界選手権 | スタンダードクラス Sjssk SELEN (NED) | 2018. 07. 08 ～21 | オストロ飛行場 (ポーランド) | 28カ国 132チーム | 2 |
| | 18mクラス Wolfgang JANOVITSCH (AUT) | 2018. 07. 28 ～08. 12 | ホシン飛行場 (チェコ) | 29カ国 94チーム | 36 |
| 4. 模型航空機 F1D フリーフライト 室内機 | 個人 Brett SANBORN (USA) 団体 アメリカ | 2018. 03. 19 ～22 | West Baden (アメリカ) | 14カ国 37名 | 23, 24, 31 団体6 |
| F2B コントロールライン 曲技 | 個人 Liu YANG (中国) 団体 日本 | 2018. 07. 14 ～20 | Landres (フランス) | 31カ国 85名 | 4, 6, 9, Jr2 団体1 |
| F3J ラジオコントロール 手曳きグライダー | 個人 Arijan HUCALJIJK (CRO) 団体 ドイツ | 2018. 07. 22 ～28 | Brasov (ルーマニア) | 16カ国 46名 | 8, 43, 46 団体14 |
| F4H ラジオコントロール フライング・スケール | 個人 Marcus HAUSMANN (GER) 団体 チェコ | 2018. 05. 07 ～14 | Meiringen (スイス) | 12カ国 34名 | 12, 13, 19 団体6 |
| F5B ラジオコントロール 電動グライダー | 個人 Van BERKUM Gerben (NED) 団体 オーストリア | 2018. 07. 22 ～27 | 北海道滝川市 (日本) | 9カ国 23名 | 17, 18, 23 団体6 |
| F5D ラジオコントロール 電動パイロンレーシング | 個人 Thomas CINBURK (CZE) 団体 チェコ | 2018. 07. 22 ～27 | 北海道滝川市 日本 | 5カ国 15名 | 3, 7, 12 団体2 |

| | | | | | |
|--|--|-------------------------|---------------------|--|----------------------------|
| S スペース | *S1A(高度競技・Jr) 個人 Ihor HLADKYI (URK) 団体 アメリカ | | | 11各国 32名 | 31, 32 |
| | *S1B(高度競技) 個人 Zhi ZHENGYI (CHN) 団体 中国 | | | 15カ国 44名 | 42 |
| | *S4A(フーストグライダー・Jr) 個人 Alexandr SHIROBOKOV (RUS) 団体 エストニア | | | 15カ国 44名 | 21, 42 団体15 |
| | *S4A(フーストグライダー) 個人 Veleriy VOLIKOV (RUS) 団体 ロシア | 2018. 07. 24 ～08. 04 | Wloclawek ポーランド | 21カ国 62名 | 39, 51, 52 団体14 |
| | *S6A(ストリマー) 個人 Jurgis STRAZDAS (LTU) 団体 ロシア | | | 23カ国 63名 | 51, 60, 62 団体20 |
| | *SSE/P(グライダー) 個人 Sun HAIGANG (CHN) 団体 ロシア | | | 16カ国 42名 | 35, 41 団体14 |
| | *S9(ヘリコプター) 個人 Michal ZITNAN (SVK) 団体 ブルガリア共和国 | | | 22カ国 59名 | 49 団体21 |
| F3U ドローンFPVレース | 個人 BROWNING Rudi (AUS) | 2018. 11. 01 ～04 | Shenzhen (中国) | 35ヶ国 128名 (内女子 13名、 Jr44名) | 57, 60, 69, 99, 121 |
| 女子 WANNAPONG Wanraya (THA) | 27 | | | | |
| Jr NILSSON Oscar (AUS) | 13 | | | | |
| 団体 オーストラリア | 13 | | | | |
| 5. パラモーター 第10回パラモーター世界 選手権 | 個人 Alexandre MATEOS (FRA) 団体 フランス | 2018. 04. 27 ～05. 06 | Lopburi タイ | 13カ国 60名 | 27, 52, 5 6, 59 団体11 |
| 6. 第18回アジア競技大会 パラグライダー (アキュター、クロスカントリー) ※アジアオリンピック評議会主催 | (アキュター) 男子個人 Jafro MEGAWANTO (INA) 男子団体 インドネシア 女子個人 Nunnapat PHUCHONG (THA) | 2018. 08. 20 ～29 | Jakarta (インドネシア) | 10カ国 51名 男子33名 女子18名 | 12, 17 9 8, 12 |

| | | | | | |
|--|-----------|--|--|--|---|
| | 女子団体 タイ | | | | 5 |
| | (クロスナトリー) | | | | |
| | 男子団体 日本 | | | | 1 |
| | 女子団体 韓国 | | | | 1 |

別表4 記録の公認等

(1) 記録の公認

1) F A I 国際記録 (F A I より認定された記録)
該当なし

2) 日本記録 (当協会が認定した記録)

| 種 目 | 氏 名 | 記 録 | 飛行年月日・飛行場所・認定日 |
|---|-------|-------------------------------|--|
| 滑空機 オープン級 一般 自由往復距離 1,000km往復コース速度 | 市川 展 | 1,005.21km 124.63km/h | 2017.12.23 オーストラリア ナロメイン滑空場 2018.04.17 |
| 模型航空機 F5Dラジオコントロール パイロンレース | 櫻井 良和 | 56.44秒 | 2018.07.21 日本 滝川スカイパーク 2018.11.12 |
| ハンググライダー 一般 直線距離 目的地直線距離 三旋点距離 | 服部 良亮 | 393.7km 338.8km 166.4km | 2018.1.2 (直線、目的地) 2018.1.4 (三旋点) オーストラリア Forbes~Manilla 2018.05.14 |
| パラグライダー 一般 直線距離 | 呉本 圭樹 | 375km | 2018.12.02 オーストラリア HAY, NSW ~ YEVOAL, NSW 2019.02.08 |

* 日本記録は平成30年度に認定した記録を記載。

2) F A I スポーツ・ライセンス (2018年1月1日～12月31日)

| 種 目 | F A I スポーツ・ライセンス発行 | | | 有効登録者数 (12月31日現在) |
|------------------------|--------------------|-------|-------|----------------------|
| | 新規発行 | 更 新 | 合 計 | |
| 熱 気 球 | 8 | 1 4 | 2 2 | 7 9 |
| 人 力 飛 行 機 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 滑 空 機 | 2 | 1 2 | 1 4 | 5 9 |
| 模 型 航 空 機 | 1 3 | 2 1 | 3 4 | 1 3 0 |
| パラシュートテイング | 1 | 1 | 2 | 1 3 |
| ハンググライダー (含パラグライダー) | 2 3 | 6 6 | 8 9 | 2 6 2 |
| 超 軽 量 動 力 機 | 2 | 0 | 2 | 7 |
| 飛 行 機 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| その他 (Rotor craft) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合 計 | 4 9 | 1 1 4 | 1 6 3 | 5 5 5 |

3) 資格証の発行数 (2018年1月1日～12月31日)

1) 滑空機

| 種 目 | 種 目 | 件 数 |
|---|--|--------------|
| 1. F A I 国際滑空記章 ※ () 内は、内数 平成22年4月1日より、認定証書 のみ発行し、バッジは申請者の 選択性とした。 | 銀 章 (※認定証のみ) | 4 (2) |
| | 金 章 (※認定証のみ) | 2 (0) |
| | ダイヤモンド距離章 | 1 |
| | ダイヤモンド高度章 | 0 |
| | ダイヤモンド目的地章 | 3 |
| | 3ダイヤモンド章 | 0 |
| | 750km章 (※認定証のみ) | 0 (0) |
| | 1,000km以上章 | 0 |
| | 2. 飛行成績証明書 ※記章発行 (単一科目達成時及 び複数科目の最終項目達成 時) を除く。 | 滞 空 5時間 (5H) |
| 距 離 50km (5K) | | 6 |
| 高 度 1,000m (1M) | | 1 0 |
| 距 離 300km (3K) | | 3 |
| 高 度 3,000m (3M) | | 3 |
| 目的地 300km (3D) | | 3 |
| 高 度 5,000m (5M) | | 0 |
| 距 離 500km (5D) | | 1 |
| 距 離 750km (7D) | | 0 |
| 距 離 1,000km (10D) | | 0 |
| 距 離 1,500km (15D) | 0 | |

2) 模型航空機

| 種 目 | 種 目 | 件 数 |
|----------------------|-----|-----|
| 1. 技能証 R/C ヘリコプター | A級 | 5 |
| | B級 | 7 |
| | C級 | 9 |
| | D級 | 4 |
| | E級 | 0 |
| C/L 飛行機 | A級 | 12 |
| | B級 | 12 |
| | C級 | 12 |
| | D級 | 7 |

3) パラシュージング

| 種 目 | 種 目 | 件 数 |
|------------------|----------|-----|
| 1. 落下傘降下士技能証 | A技能証 | 0 |
| | B技能証 | 0 |
| | C技能証 (銀) | 0 |
| | D技能証 (金) | 0 |
| 2. 国際パラシュージング技能証 | A技能証 | 0 |
| | B技能証 | 0 |
| | C技能証 | 0 |
| | D技能証 | 0 |

別表5 主催・後援事業

(1) 主催事業

| 名 称 | 開 催 日 | 場 所 | 参加人数 |
|---|-------------------|-------------------------|----------------|
| 航空スポーツ教室 スカイ・キッズ・プログラム (第41～43回) | 2018.08.04 | 東京臨海広域防災公園 /東京都江東区 | 1,215名 |
| | 2018.09.15 | 藤岡市中央公園 /群馬県藤岡市 | 56名 |
| | 2019.02.23 | 石岡市八郷総合運動公園 /茨城県石岡市 | 38名 |
| こども模型飛行機教室 (全国18箇所、参加者数846名) *参加者数は子供のみ | 2018.04.01 | 高知ラジコンクラブ飛行場 /高知県高知市 | 8名 (笹泰典) |
| | 2018.05.04 ～05 | 熊本城二ノ丸公園 /熊本県熊本市 | 90名 (指導員のみ) |

| | | | |
|--|-------------------|---------------------------|-----------------|
| | 2018.05.19 | 渋谷区立富谷小学校 ／東京都渋谷区 | 30名 (山科達雄) |
| | 2018.06.10 | 千葉県立現代産業科学館 ／千葉県市川市 | 31名 (石原能行) |
| | 2018.07.03 | 高知市立第六小学校 ／高知県高知市 | 33名 (吉岡久智) |
| | 2018.07.25 | 滝川スカイパーク ／北海道滝川市 | 16名 (指導員のみ) |
| | 2018.08.04 | 東京臨海広域防災公園 ／東京都江東区 | 138名 (指導員のみ) |
| | 2018.08.11 | 延岡市民体育館 ／宮崎県延岡市 | 41名 (島崎一) |
| | 2018.09.15 | 藤岡市民ホール ／群馬県藤岡市 | 16名 (児山修造) |
| | 2018.09.16 | 航空科学博物館 ／千葉県山武郡 | 24名 (埴隆之) |
| | 2018.09.29 ～30 | 東京ビッグサイト東7ホール ／東京都江東区 | 52名 (指導員のみ) |
| | 2018.10.13 | ふくしまスカイパーク ／福島県福島市 | 160名 (田邊義和) |
| | 2018.10.20 | ホンダエアポート ／埼玉県比企郡 | 70名 (山科達雄) |
| | 2018.10.21 | 妻沼滑空場 ／埼玉県熊谷市 | 60名 (指導員のみ) |
| | 2018.11.24 | ふくしまスカイパーク ／福島県福島市 | 23名 (渡久地政光) |
| | 2018.12.23 | さいたま市立大古里公民館 ／埼玉県さいたま市 | 14名 (山科達雄) |
| | 2019.01.12 | 千葉県立現代産業科学館 ／千葉県市川市 | 28名 (石原能行) |
| | 2019.02.23 | 八郷総合運動公園 ／茨城県石岡市 | 12名 (和田光信) |

(2) 共催事業：主催実行委員会構成団体の一員として参画

| 名 称 | 開 催 日 | 場 所 | 備 考 |
|-------------------------------------|-------------------|----------------------|--------|
| 東日本大震災支援熱気球イベント 第25回「空を見上げて」IN東京 | 2018.08.04 ～05 | 東京都江東区 東京臨海広域防災公園 | 1,215名 |

| | | | |
|--|--------------|-------------------------|---------------|
| 第24回 スカイスポーツ シンポジウム (一社)日本航空宇宙学会主催 | 2018. 12. 01 | 都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス | 53名 (事務局含) |
|--|--------------|-------------------------|---------------|

(3) 後援事業

| 名 称 | 開 催 日 | 場 所 | 備 考 |
|------------------------------|---------------------|----------------------------|-----------------|
| 第43回 二宮忠八翁 飛行記念大会 | 2018. 04. 29 | 愛媛県八幡浜市 市民スポーツパーク グラウンド | 来場者数 1,200人 |
| 第41回 鳥人間コンテスト 選手権大会2018 | 2019. 07. 28 ～29 | 滋賀県彦根市 松原水泳場周辺 | 来場者数 25,000人 |
| 2018 北海道スカイスポーツ フェア イン 滝川 | 2018. 07. 29 | 北海道滝川市 たきかわスカイパーク | 入場者数 5,000人 |
| 第30回札幌航空ページェント | 2018. 08. 12 | 北海道札幌市 丘珠飛行場 | 入場者数 40,000人 |
| 第45回北海道バルーン フェスティバル | 2018. 08. 10～12 | 北海道河東郡上士幌町 | 観客数 26,000人 |
| 埼玉スカイ・スポーツ・フェスタ2018 | 2018. 10. 21 | 埼玉県熊谷市 妻沼滑空場 | 来場者数 12,000人 |
| 第32回RC航空ページェント | 2018. 11. 03 | 栃木県太田市 尾島RCスカイポート | 来場者数 32,000人 |
| 第43回おぢや風船一揆 | 2019. 2. 23～24 | 新潟県小千谷市西中会 | 来場者数 43,000人 |

(4) 協力事業

| 名 称 | 開 催 日 | 場 所 | 備 考 |
|----------|--------------|---------------------|--------------|
| 空まつり2018 | 2018. 11. 18 | 千葉県野田市 野田市スポーツ公園 | 来場者数 500人 |

別表6 表彰事業（協会賞・FAI賞）詳細

1. 平成30年度 日本航空協会賞 受賞者一覧

(1) 航空亀齡賞

<長年にわたり航空の発展に尽力され、且つ数え年90歳になられた方に長寿を祝福する賞>

本年度は該当者なし

(2) 航空文化賞

<航空に関する功績が顕著で、航空界が挙がって表敬を惜しまない者に贈る賞。本賞は、当協会が贈る諸賞のうち、最高位に位置する賞>

本年度は該当者なし

(3) 航空功績賞

<航空に関する文化、科学技術および事業等の発展に著しく寄与された方またはグループに贈る賞>

| | |
|---------------------------------------|--|
| <p>いしばし あきら 石橋 明 氏 (78歳)</p> | <p>航空少年団活動を通して青少年の健全な育成に尽力されるとともに、安全に関する研究成果の普及活動により航空の安全に貢献されました。 〔(株)安全マネジメント研究所 所長 推薦：(一財)航空振興財団〕</p> |
| <p>なかの ひでお 中野 秀夫 氏 (85歳)</p> | <p>航空交通管制業務の近代化により安全で効率的な航空交通の実現に尽力されるとともに、我が国の国際航空ネットワークの発展に貢献されました。 〔元(一財)航空交通管制協会 専務理事 推薦：(一財)航空交通管制協会〕</p> |
| <p>もとやま ちかし 元山 近思 氏 (73歳)</p> | <p>革新的な生産技術の導入によりボーイング787の国際共同開発事業などを成功に導くとともに各種団体活動を通じて我が国の航空宇宙産業の発展に貢献されました。 〔元川崎重工業(株)代表取締役常務 航空宇宙カンパニープレジデント 推薦：(一社)日本航空宇宙工業会〕</p> |
| <p>やぎ いさお 八木 功 氏 (76歳)</p> | <p>長年にわたり対話を通じ安全を最優先する企業文化の醸成・構築に尽力され、我が国の航空業界における安全文化の確立に多大な貢献をされました。 〔元全日本空輸(株)代表取締役副社長 推薦：全日本空輸(株)〕</p> |

(4) 航空特別賞

<航空の発展、思想の普及啓蒙に顕著な功績があった者またはグループに贈る賞>

本年度は該当者なし

(5) 空の夢賞

<航空、宇宙に対する夢や希望を与え、または明るい話題を提供するなどユニークな貢献をした者またはグループに贈る賞>

| | |
|--|---|
| <p>第18回アジア競技大会 パラグライディング 競技日本代表選手団</p> | <p>アジア・オリンピック評議会主催の第18回アジア競技大会において(公財)日本オリンピック委員会より航空スポーツとして初めて選ばれたパラグライディング競技のクロスカントリー種目で男子団体が金メダル、女子団体が銀メダルを獲得されるという素晴らしい成績を収められるとともに、多くの人びとに航空スポーツの魅力を伝えることに貢献されました。 〔推薦：一般社団法人 日本航空協会表彰事務局〕</p> |
|--|---|

(6) 航空スポーツ賞

<航空スポーツのFAI世界記録を樹立、または、同世界選手権者となった個人、グループに贈る賞>

| | |
|---|---|
| だんじょうあきひろ 檀上彰宏氏 | <p>模型航空機による滞空時間世界記録を樹立（平成29年7月、8月） フリーフライト室内機F1M級（117-a 天井高15m未満） 18分48秒</p> <p>フリーフライト室内機F1M級（117-b 天井高8m以上15m未満） 20分09秒</p> |
| おんだ てつお 音田 哲男氏 | 2017年模型航空機ラジオコントロール曲技（F3A）世界選手権で優勝 |
| 模型航空世界 選手権コン 트롤ライン 曲技 日本代表チ ーム | <p>2018年模型航空機コントロールライン曲技（F2B）世界選手権 で優勝</p> <p>（団長：横山 満 / 副団長 兼 選手：比氣 勝 / の ごめ しょういちろう むらまつ まさひろ 選手：能米 昭一郎 ・ 村松 督浩）</p> |

2. 国際航空連盟（FAI）賞伝達

（1）アンドレイ・ツポレフ・メダル

<同一年に同一模型航空クラスの世界模型航空選手権及び国内模型航空選手権の両方に優勝した個人1名に授与される賞>

| | |
|-------------------|---|
| おんだ てつお 音田 哲男氏 | <p>2017年模型航空機ラジオコントロール曲技（F3A）世界選手権、及び日本選手権において優勝されました。</p> <p>〔推薦：日本模型航空連盟〕</p> |
|-------------------|---|

（2）FAI エア・スポーツ・メダル（The FAI Air Sports Medal）

<航空スポーツに関連した委員会業務、競技会運営、若年層の教育訓練等に顕著な功績や貢献があった個人又は団体に贈る賞>

| | |
|------------------------|---|
| やまもと りょうすけ 山本 亮介氏 | <p>日本気球連盟のパイロットやインストラクター、イグザミナーの制度等の改革や運営に尽力されるとともに、インストラクターやイグザミナーとして後進の指導育成に努めるなど航空スポーツ普及に貢献されました。</p> <p>〔推薦：日本気球連盟〕</p> |
| なかざわ あいいちろう 中澤 愛一郎氏 | <p>国内のクラブでは例のないプロフェッショナルな人材を登用することにより、世界水準のグライダー、軽飛行機の操縦訓練や整備サービス提供に尽力されるとともに、航空スポーツの飛行活動の環境整備や耐空検査員、教官として安全管理や後進の指導育成に努めるなど航空スポーツの普及振興に貢献されました。</p> <p>〔推薦：（公社）日本滑空協会〕</p> |
| にしかわ まさひで 西川 正秀氏 | <p>NPO法人日本マイクロライト航空連盟の理事や大会役員を務めるとともに、自身も3度の日本選手権の優勝を果たされました。また、マイクロライト専用離着陸場としては国内初の事例となる「航空援助用無線局」を取得し、地域防災航空の環境整備や操縦指導者として後進の指導育成に努めるなど航空スポーツの普及振興に貢献されました。</p> <p>〔推薦：（NPO）日本マイクロライト航空連盟〕</p> |